



平成30年度全国検査と健康展

全国「検査と健康展」は、国民の皆様には生活習慣病やがん早期発見のための定期的な健康診断の重要性を啓発し、臨床検査についての理解も深めていただくために毎年47都道府県で開催されています。

京臨技では12月9日（日）に福知山市において開催されました。福知山市での開催は今年で4年連続4回目となり市民の認知度も少しずつ上がってきています。



当日は頸動脈エコーやCAVI、もの忘れプログラムなどの検査体験をしていただきました。

また実際に顕微鏡を覗いてがんの標本を見てもらったり、乳腺模型を使って乳腺自己チェックの仕方を体験していただき、がん早期発見の重要性もお話ししました。



中高校生向け臨床検査技師の職業紹介コーナーでは今話題の清水茜さん原作「はたらく細胞」（講談社）のコミック本と顕微鏡、血液標本を並べ来場者の方に興味を持っていただきました。臨床検査のおもしろさに魅せられた学生さんも多くいたと思います。



『ガッテン流、半端ない！ダイエット技SP～あなたの体に変化が生まれる。目からうろこの北折塾～』と題してNHKためしてがってん元専任ディレクター北折一さんにご講演いただきました。「家族や愛する人のために体重をうまくコントロールしよう！」と北折式体重コントロール術を熱く楽しく話していただきました。



多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会

平成30年12月15日～16日に京都保健衛生専門学校で「多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会」を開催しました。チーム医療を推進し臨床検査技師の活躍の場を広げるための取り組みとして実施されました。

看護師、臨床工学技士、薬剤師を講師に招き講演と実技の講習を行って頂きました。特に実技講習は大変好評で、時間が足りないとの声が出るほど大変活気のある講習会となりました。講師の先生方からも臨床検査技師という職種がこれほど勉強熱心で積極的な人が多いはと知らなかったという声がありました（笑）



～参加者の声～

「他の職種の話を聞く機会があまりないため、非常に興味深かった」

「採血時の患者移送方法を学びたくて参加した。日常的に疑問に思っているも学ぶ機会が無いためこのような講習会はありがたい」

「これから臨床検査技師は、病棟・外来・訪問検査等もっと外に出ていく必要がある。講習会で得た物を病院に持ち帰り活かしたい」

参加者の感想や意見を取り入れて、来年度も実りある講習会にしたいと思います。



京都府保健医療功労者表彰を受けて

平成30年11月12日、京都府公館レセプションホールに於いて平成30年度京都府保健医療功労者等表彰式が執り行われ、「健康づくりの部門」において表彰されました。これもひとえに京都府臨床検査技師会の「くらしと健康展」や「全国検査と健康展」等の府民の健康啓発活動や保健衛生教育活動が評価されての受賞であり深く感謝申し上げます。

私が臨床検査技師になって30年以上の年月が経ち、臨床検査技術は目覚ましい進歩と高度化により病気の早期発見、診断や治療効果の判定において不可欠になっています。

技師会会員の皆様におかれましても、日々臨床検査の業務に追われる毎日と思いますが、地域住民の皆様の生活習慣病やがんの早期発見のため定期的な健診の重要性を啓発するのも臨床検査技師の務めとっております。これからもこのような取り組みが継続されることを陰ながら応援しております。

京都岡本記念病院 青山 絹子



編集後記

今年地震・豪雨・巨大台風・土砂崩れと災害が多い年で、災害についていろいろと考えることが多かったのではないのでしょうか。私の身近でも店舗のガラスが割れたり、瓦が飛んできたり、水がそこまできたり...と大変でした。過去の災害を教訓に災害医療は常に見直されているように、我が家でも見直され非常食がいつの間にかあったり、自己発電グッズが見受けられます。実際に発電機を使用してみました。災害は唐突に、忘れた頃にやってきます。備えあれば憂いなし！訓練も忘れずに！（や）

発行所 (一社)京都府臨床検査技師会
発行責任者・編集者：白波瀬 浩幸
編集者：齊藤祐巳子 山田雅 佐藤晴久
〒606-8395 京都市左京区東丸太町 9-1 マンパワービル3F
TEL・FAX 075-752-5090
<http://plaza.umin.ac.jp/kamt/>
会員専用ページ：ID kamt PW kyoringi

ご意見等は、京臨技ホームページのトップページ最下部「お問合せ」ボタンから